

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	高山市立新宮小学校		
実 施 期 間	平成26年11月8日(土)		
実 施 概 要	縦割り班(異年齢集団)による新宮校区のウォークラリー (土曜授業として実施)		
実 施 内 容	学習・取組の分野 ■自然 ■歴史 ■文化 ■産業 □その他		
	公開の方法 □授業公開 □成果発表 ■交流活動 □講演会等 □地域行事等参加 □その他		
来 校 者 数	保 護 者	32 人	計 36 人
	地域関係者	4 人	
実 施 状 況	1 ねらい (1) 新宮校区の散策を通して、校区の自然・歴史・文化・産業等を感じるとともに、郷土への愛着を深める。 (2) 縦割り班(異年齢集団)による活動を通して、高学年児童のリーダーシップを培うとともに一人一人の仲間関係を広げる。 2 内容・方法 (1) 35の縦割り班で散策する。1班13~14人で、1~6年生が必ず所属する。各班にはボランティア(保護者・地域の方)が1名同行する。 (2) 21カ所のポイントからいくつかのポイントを選んで散策する。主なポイントは以下の通り。 ①各地域の公民館 ②神社やお寺(新宮神社、西蓮寺等) ③公園(赤保木公園、原山公園) ④会社等(打江精機、飛騨牛乳、郵便局、派出所) (3) 各ポイントで、チェック(スタンプやシール等)を受ける。 (4) 制限時間は2時間30分とする。 (5) 全体会で各ポイントの得点(5点、10点、20点、30点の4種類)を発表するとともに、各班の合計点数を確認する。		

成果及び課題	<p>1 成果</p> <p>(1) ほとんどの児童が、「新宮校区の様々な場所や道について知ることができてよかった。」という思いを抱くことができ、郷土への愛着を深める土台づくりにつながった。</p> <p>(2) 縦割り班の仲間で楽しく行動することができ、一人一人の仲間関係を深めることができた。また、低学年の児童に高学年の児童が主体的にかかわる（言葉をかけたり、手をひいたり、おんぶしたりする）など、リーダーシップを培うことにもつながった。</p> <p>(3) 地域の方から「意義のある行事である。」といった評価の言葉をいただくことができた。</p> <p>2 課題</p> <p>(1) ポイントまでの距離や活動時間について、より望ましい設定の仕方を一考する。</p> <p>(2) ボランティアや各ポイントで待機する係員の確保について計画的に進める必要がある。</p>
--------	--